

事業カルテ (3年度決算)

子育て支援課

03-02-03-341

ひとり親家庭自立支援給付金事業

◇事業の位置づけ等

事務の種類	自治事務	基礎となる法令	母子及び父子並びに寡婦福祉法第31条・第31条の10				
第五次総合計画 基本計画体系	目指すまちの姿	子育て・子育てをみんなで支え、子どもたちの明るい声がひびくまち					
	政策	A1	子どもを育てることがうれしいと思えるまちづくり				
	施策	2	子育て家庭への支援				
	関連する施策	—					
関連する個別計画	多摩市子ども・子育て・若者プラン						
関連する報告書など	—						
事業開始の経緯、 これまでの見直し・改善など	平成15年度に新たに創設された国庫補助事業であり、多摩市においては平成17年度から事業を実施。平成25年度から父子家庭の父へ対象を拡大した。平成26年10月法改正により法定事業化。平成28年1月に「多摩市ひとり親家庭自立支援給付金支給事業」へ名称を変更。高等職業訓練促進給付金について、令和元年度の制度改正により支給上限額と修業年限に関する基準が緩和された。また、令和3年度の制度改正により対象資格が拡大され、訓練期間に関する基準が緩和された。						

◇令和3年度の事業の実施内容

事業開始の時期

平成17年度

事業の目的、 令和3年度の目標	母子家庭及び父子家庭の経済的自立促進のための知識、技能取得のための支援を行う。
予算の執行方法	児童扶養手当受給者又はそれと同等の所得水準の母子家庭の母又は父子家庭の父が対象。教育訓練給付金は、指定の講座・資格の中から受講講座を事前面接で決定し、期間内修了者に対して受講料の60%を給付した。また、高等職業訓練促進給付金は、確実に就業に結び付く国家資格の取得を目標に修学している母又は父に対し、修業期間中に国の基準に基づき給付金を支給した。
事業の成果	母子家庭の母及び父子家庭の父の就業の促進、経済的安定を図った。

◇事業にかかる費用

区分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
決算額(単位:千円)	5,809	6,586	5,835	6,211	5,252	
事業にかかる実コスト	6,690	7,426	6,951	7,048	6,743	
内訳	直接経費					
	国庫支出金	4,356	4,938	2,552	4,137	3,495
	都支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0	0	0
	一般財源	1,453	1,648	3,283	2,074	1,757
間接経費						
職員人件費	881	840	1,116	837	1,491	
「従事人員数」	0.10	0.10	0.13	0.10	0.18	
その他の人件費	0	0	0	0	0	

◇成果指標

指標の種類	指標について		令和2年度	令和3年度	令和4年度
活動指標 (アウトプット)	制度の周知等による就労相談実人数	目標	40人	70人	—
		結果	39人	81人	—
成果指標 (アウトカム)	自立支援給付金制度に基づき、講座を受講した人数	目標	9人	11人	—
		結果	5人	7人	—

特記事項

事業目的から成果指標の目標値を設定することがなじまないため、令和4年度より目標値の設定を行わないこととする。

◇自己点検

の成果 推移 指標	今後の見通し		方 今 向 後 の 性 の	今後の課題や方向性に関するコメント
	量的	財一 源般		
B	N	N	イ	—

<ひとり親家庭自立支援給付金事業>

◇ 執行状況及び成果等

- 1 母子家庭及び父子家庭の経済的自立促進のために資格・技能修得のための修業に要する費用の一部を助成した。
- 2 ひとり親家庭自立支援給付金給付状況

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
件数	自立支援教育訓練給付金（人）※	0	1	3	0	0
	高等職業訓練促進給付金（人）	6	6	5	5	5
	合計（人）	6	7	8	5	5
支給額（円）		5,809,000	6,586,264	3,729,364	5,575,500	4,660,500

※自立支援教育訓練給付金は、講座修了後に給付するものであり、講座の受講期間が複数年度にわたる場合がある。また、自立支援教育訓練給付金と高等職業訓練促進給付金を併用する場合がある。このため、事業カルテの成果指標「自立支援給付金制度に基づき、講座を受講した人数」と上記給付状況の人数は一致しないことがある。

事業カルテ (3年度決算)

子育て支援課

03-02-03-343

ひとり親家庭相談事業

◇事業の位置づけ等

事務の種類	自治事務	基礎となる法令	母子及び父子並びに寡婦福祉法、売春防止法、児童福祉法			
第五次総合計画 基本計画体系	目指すまちの姿	子育て・子育てをみんなで支え、子どもたちの明るい声がひびくまち				
	政策	A1	子どもを育てることがうれしいと思えるまちづくり			
	施策	2	子育て家庭への支援			
	関連する施策	-	-	-	-	-
関連する個別計画	多摩市子ども・子育て・若者プラン					
関連する報告書など	-					
事業開始の経緯、 これまでの見直し・改善など	東京都から派遣されてきた「母子自立支援員」が平成17年度末で引き揚げとなり、平成16年8月から母子・婦人相談業務の質・量を確保するために、常勤職員を1名配置し、平成18年4月からはさらに1名を増員し、母子自立支援員2名体制となった。 平成26年に母子及び父子並びに寡婦福祉法の改正により、父子家庭への支援が法律に明記されたことにより、「母子・父子自立支援員」へ改称されたことから、事業名を「母子相談事業」から「ひとり親家庭相談事業」に改めた。令和2年度より就労支援を中心とした「自立支援プログラム」を開始した。					

◇令和3年度の事業の実施内容

事業開始の時期

平成17年度

事業の目的、 令和3年度の目標	母子家庭となった母及び父子家庭となった父等の経済的なこと、仕事のこと、住まいのことや子育てのことなど幅広い課題に対し、相談を通じたソーシャルワークを行い、それぞれの問題解決を図る。とりわけ、自立支援の主要である就労支援に力点を置いた支援を行う。
予算の執行方法	母子家庭の母及び父子家庭の父等の生活面の安定と自立支援のための事業費を執行した。
目指す事業の成果	専門的な知識と経験に基づくソーシャルワークにより、母子・父子等の自立支援に寄与した。

◇事業にかかる費用

区 分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
決算額(単位:千円)	10,620 千円	19,619 千円	22,103 千円	17,363 千円	17,332 千円	
事業にかかる実コスト	22,958 千円	31,380 千円	32,488 千円	29,250 千円	28,182 千円	
内 訳	直接経費					
	国庫支出金	5,221 千円	9,276 千円	8,191 千円	7,061 千円	7,628 千円
	都支出金	2,624 千円	4,596 千円	4,083 千円	3,549 千円	3,790 千円
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	7 千円
	一般財源	2,775 千円	5,747 千円	9,829 千円	6,753 千円	5,907 千円
間接経費						
職員人件費	12,338 千円	11,761 千円	10,385 千円	11,887 千円	10,850 千円	
《従事人員数》	1.40 人	1.40 人	1.21 人	1.42 人	1.31 人	
その他の人件費	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	

◇成果指標

指標の種類	指標について		令和2年度	令和3年度	令和4年度
活動指標 (アウトプット)	母子・父子自立支援員の人数	目標	2人	2人	—
		結果	2人	2人	—
成果指標 (アウトカム)	相談回数	目標	1,620回	1,200回	—
		結果	1,708回	2,123回	—

特記事項

事業目的から成果指標の目標値を設定することがないため、令和4年度より目標値の設定を行わないこととする。令和2年度より、成果指標(アウトカム)の考え方を相談内容による回数から相談実施による延回数に変更する。

◇自己点検

の 成 果 指 標 の 推 移	今後の見通し		方 今 向 後 性 の イ	今後の課題や方向性に関するコメント
	量 的	財 源 的		
B	N	N	イ	

<ひとり親家庭相談事業>

◇ 執行状況及び成果等

1 相談事業実績 (回)

相談内容 (延べ)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
生活一般	589	534	636	1,260	1,303
児童	44	74	141	328	240
経済的支援・生活援護	401	363	325	464	310
その他	0	24	38	23	32
合計	1,034	995	1,140	2,075	1,885

(人)

月内新規相談実人員の年度内累計	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	624	578	480	377	422

※平成26年10月、法改正により、相談支援の対象として正式に父子が含まれたため、事業名称を「ひとり親家庭相談事業」へ変更。

※月内新規相談実人員の年度内累計は、各月での新規相談実人員について、4月～翌年3月までの累計としたもの。

2 母子生活支援施設入所状況

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
延べ入所世帯 (世帯)	26	43	40	31	32
支弁額 (円)	10,358,018	18,383,148	16,330,411	14,477,876	15,878,271

※居宅での日常生活が困難な母子に対し、生活の場を提供する経費。

※母子生活支援施設・・・居宅での日常生活が困難な母子に対し、生活の場を提供しています。

事業カルテ (3年度決算)

児童青少年課

03-02-04-345 児童館・学童クラブ管理経費

◇事業の位置づけ等

事務の種類	自治事務	基礎となる法令	児童福祉法・社会福祉法			
第五次総合計画 基本計画体系	目指すまちの姿	子育て・子育てをみんなで支え、子どもたちの明るい声がひびくまち				
	政策	A1	子どもを育てることがうれしいと思えるまちづくり			
	施策	1	子どもの健やかな成長への支援			
	関連する施策	A1-1	A1-3	-	-	-
関連する個別計画	多摩市子ども・子育て・若者プラン(多摩市子ども・子育て支援事業計画)					
関連する報告書など	多摩市の児童館					
事業開始の経緯、 これまでの見直し・改善など	昭和48年児童館創設後、各地域に順次開設し、現在10館に至る。平成27年度には3館、28年度には2館、一部改修工事を行い、利用者支援事業と地域子育て支援拠点事業を実施した。また、学童クラブも順次開設・整備を進め、平成19年度以降は、公設民営で整備を行ってきた。整備にあたっては、学校内への移転を進めるとともに、受入れ規模を拡大してきた。					

◇令和3年度の事業の実施内容

	事業開始の時期	平成13年度以前
事業の目的、 令和3年度の目標	施設の機能維持及び職員配置の適正化を図りながら児童の放課後における健全育成を進める。また、地域の乳幼児を持つ保護者の子育て支援を行う。令和3年度は、児童館大規模改修時の代替施設への引越しや空調設備の設置などを実施する。また、学童クラブにおける医療的ケア児の受け入れを実施する。	
予算の執行方法	適正な運営体制を確保するため必要な会計年度任用職員を配置・管理するとともに学童クラブの入所審査・決定、使用料の徴収等により学童クラブの円滑な運営に執行した。また、施設の点検、修繕など機能保全と充実に努め、児童館10館及び30学童クラブの管理運営のために執行した。大規模改修中の落合児童館及び連光寺児童館については代替施設への引越し業務委託料や空調設備の設置工事費を執行した。学童クラブにおいて医療的ケア児を受け入れるため、訪問看護師派遣業務委託料を執行した。	
事業の成果	児童館施設のいくつかは、経年劣化が進み、標準的な機能の不具合、社会変化にも対応できていない所が出てきている。こうした中で、児童館の果たせる役割、機能、専門性等どうあるべきなのか、児童館のこれからの検討する動きを開始しました。こうした間も、施設修繕対応を行うことで施設の長寿命化・延命化を図った。また、大規模改修中の落合児童館及び連光寺児童館については、代替施設にて運営し、工事中も児童の放課後における健全育成を進めることができた。また訪問看護ステーションと委託契約を結び、必要に応じて訪問看護師を学童クラブに派遣し、医療的ケア児の受け入れに対応した。	

◇事業にかかる費用

区 分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
決算額(単位:千円)	215,524 千円	272,113 千円	291,299 千円	197,877 千円	113,568 千円	
事業にかかる実コスト	241,963 千円	305,715 千円	325,629 千円	230,942 千円	148,769 千円	
内 訳	直接経費					
	国庫支出金	59,869 千円	85,628 千円	86,880 千円	47,890 千円	15,868 千円
	都支出金	27,345 千円	81,945 千円	103,039 千円	53,279 千円	17,089 千円
	地方債	7,200 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	その他特定財源	1,350 千円	6,377 千円	2,857 千円	99 千円	7,536 千円
	一般財源	119,760 千円	98,163 千円	98,523 千円	96,609 千円	73,075 千円
	間接経費					
職員人件費	26,439 千円	33,602 千円	34,330 千円	33,065 千円	35,201 千円	
「従事人員数」	3.00 人	4.00 人	4.00 人	3.95 人	4.25 人	
その他の人件費	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	

◇成果指標

指標の種類	指標について		令和2年度	令和3年度	令和4年度
活動指標 (アウトプット)	児童館・学童クラブの施設数	目標	39施設	40施設	40施設
		結果	39施設	40施設	—
成果指標 (アウトカム)	児童館・学童クラブの延べ育成児童数	目標	834,668人	847,853人	849,774人
		結果	626,476人	674,939人	—

特記事項	児童館については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、引き続き消毒作業のための休館時間を設けながら事業を実施した。学童クラブについては必要な方への保育等を提供する観点から9月に登所自粛は行ったが、休所することなく、感染防止策をとりながら事業を実施した。
------	--

◇自己点検

の成果 推移 指標	今後の見通し		方今 向後 性の	今後の課題や方向性に関するコメント
	量的	財一 源般		
B	A	A	イ	—

<児童館・学童クラブ管理経費>

◇ 執行状況及び成果等

児童館・学童クラブが円滑に運営されるように、その維持管理を行った。

(円)

年度	主な経費内訳				
	報酬※5		委託料		工事請負費 (改修工事、維持補修工事)
	会計年度任用職員報酬 (児童館専門スタッフ)	会計年度任用職員報酬 (児童館等補助スタッフ)	設備・機器等保守 点検委託料 (建築設備定期検査 委託料等)	業務委託料 (施設維持管理業務 委託料等)	
29	40,982,465	40,773,840	1,616,760	13,616,751	※1 122,257,796
30	51,222,752	34,525,093	1,621,774	19,106,261	※2 150,929,211
元	54,499,609	37,094,867	2,490,250	15,187,245	※3 182,973,300
2	※6 46,362,866	※6 33,713,915	2,108,095	15,533,012	※4 93,789,102
3	※6 46,111,620	※6 31,541,472	2,014,650	16,681,014	10,709,600

- ※1 (仮称)北諏訪小学童クラブ第二建設工事費 81,785,160円含む
 (仮称)東落合小学童クラブ建設工事費(29年度分) 35,600,000円含む
 ※2 (仮称)東落合小学童クラブ建設工事費(30年度分) 50,687,720円含む
 (仮称)連光寺小学童クラブ建設工事費 95,148,000円含む
 ※3 (仮称)貝取小学童クラブ建設工事費 108,422,600円含む
 (仮称)南鶴牧小学童クラブ第二建設工事費 70,826,800円含む
 ※4 (仮称)東寺方小学童クラブ第三建設工事費 71,670,500円含む
 ※5 令和2年度から会計年度任用職員制度が始まり、賃金を報酬に変更
 ※6 通勤費・出張旅費・手当を除く

事業カルテ (3年度決算)

児童青少年課

03-02-04-346 児童館運営事業

◇事業の位置づけ等

事務の種類	自治事務	基礎となる法令	児童福祉法・社会福祉法			
第五次総合計画 基本計画体系	目指すまちの姿	子育て・子育てをみんなで支え、子どもたちの明るい声がひびくまち				
	政策	A1	子どもを育てることがうれしいと思えるまちづくり			
	施策	1	子どもの健やかな成長への支援			
	関連する施策	A1-1	A1-3	-	-	-
関連する個別計画	多摩市子ども・子育て・若者プラン(多摩市子ども・子育て支援事業計画)					
関連する報告書など	多摩市の児童館					
事業開始の経緯、 これまでの見直し・改善など	児童館は、平成10年7月、閉館時間を午後5時から午後6時に変更した。平成23年度から一ノ宮、唐木田児童館において中高生対策重点対応館とし、午後7時まで閉館時間を延長した。さらに平成26年度からは永山児童館を中高生重点対応館として時間延長を実施した。平成27年度から、一ノ宮・永山・唐木田の3館、平成28年度から落合・諏訪の2館を地域子育て支援拠点として事業を開始し子育てマネージャーを配置した。児童館として事業を継続する愛宕・豊ヶ丘・東寺方・桜ヶ丘の各児童館では、閉館時間を10時から18時にするとともに、中高生重点対応館では日曜日の閉館を実施した。平成30年度より、桜ヶ丘児童館を一ノ宮児童館の連携館に位置付け、地域子育て支援事業(連携型)を実施した。令和元年度より、連光寺児童館を地域子育て支援拠点として事業を開始し子育てマネージャーを配置した。新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年3月から5月まで休館とした。その後も、消毒のため正午に一時閉館する等利用時間等を変更して閉館している。					

◇令和3年度の事業の実施内容

事業開始の時期

平成13年度以前

事業の目的、 令和3年度の目標	児童の健全な育成を図るため、子育て支援事業・子育て支援事業・健全育成環境の醸成事業を実施する。地域子育て支援拠点においては、併せて利用者支援事業・地域子育て支援拠点事業を実施する。令和3年度は、落合児童館、連光寺児童館の大規模改修を進めるとともに代替施設での運営を実施する。引き続き、新型コロナウイルス感染症対策を実施し、事業を見直しながら運営していく。
予算の執行方法	子育て支援事業、子育て支援事業、健全育成環境の醸成事業に加え、拠点施設では、常設の子育てひろばを開設するとともに、子育てマネージャー(利用者支援員)を配置し、地域子育て支援拠点事業及び利用者支援事業を実施した。 令和3年度は補助金を活用し、地域子育て支援拠点等の備品を購入するとともに、新型コロナウイルス感染症対策用の消耗品を購入し、対策を行いながら事業を実施した。
事業の成果	妊娠期から18歳までの児童と保護者・家庭に対して途切れない支援を行った。 地域での子育て支援のネットワーク作りを行い、地域の子育て家庭に対する情報を集約し提供するとともに個々の相談にも応じたことで子育て環境が充実した。また、地域連携のため世代間交流やボランティアを育成した。 関係課と調整の上、落合児童館及び連光寺児童館の大規模改修及び代替施設での事業運営が実施できた。 正午に一時閉館し、消毒作業を行う等新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じながら、事業を実施することができた。

◇事業にかかる費用

区 分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
決算額(単位:千円)	15,191 千円	18,278 千円	14,616 千円	20,282 千円	10,709 千円	
事業にかかる実コスト	306,019 千円	303,899 千円	306,419 千円	321,638 千円	308,880 千円	
内 訳	直接経費					
	国庫支出金	66 千円	1,189 千円	92 千円	5,803 千円	486 千円
	都支出金	5,418 千円	6,539 千円	6,250 千円	8,320 千円	5,817 千円
	地方債	千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	その他特定財源	1,135 千円	1,340 千円	345 千円	290 千円	571 千円
	一般財源	8,572 千円	9,210 千円	7,929 千円	5,869 千円	3,835 千円
間接経費						
職員人件費	290,828 千円	285,621 千円	291,803 千円	301,356 千円	298,171 千円	
《従事人員数》	33.00 人	34.00 人	34.00 人	36.00 人	36.00 人	
その他の人件費	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	

◇成果指標

指標の種類	指標について		令和2年度	令和3年度	令和4年度
活動指標 (アウトプット)	児童館施設数	目標	10館	10館	10館
		結果	10館	10館	—
成果指標 (アウトカム)	児童館の延べ利用者数	目標	285,000人	285,000人	285,000人
		結果	149,159人	184,935人	—

特記事項	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、引き続き消毒のための閉館時間を設ける等感染対策を講じながら事業を実施した。
------	---

◇自己点検

の成果 推移 指標	今後の見直し	方今 向後 性の イ	今後の課題や方向性に関するコメント
	量的 的 財一 源般		
B	B	B	—

<児童館運営事業>

◇ 執行状況及び成果等

1 年度別児童館利用状況

	平成29年度児童館利用状況					
	開館日数 (日)	幼児 (人)	小学生 (人)	中・高生 (人)	大人 (人)	合計 (人)
一ノ宮児童館	318	11,214	17,038	4,154	11,480	43,886
永山児童館	318	10,373	11,716	3,296	9,840	35,225
愛宕児童館	293	1,718	10,885	846	2,548	15,997
連光寺児童館	293	2,101	17,345	879	3,190	23,515
豊ヶ丘児童館	293	1,532	12,342	1,058	2,131	17,063
東寺方児童館	293	1,747	10,002	917	2,252	14,918
諏訪児童館	294	9,869	13,625	1,414	10,298	35,206
桜ヶ丘児童館	293	3,909	7,752	734	5,353	17,748
落合児童館	293	6,806	16,667	1,189	7,417	32,079
唐木田児童館	320	10,220	16,930	4,085	13,085	44,320
合計	3,008	59,489	134,302	18,572	67,594	279,957

	平成30年度児童館利用状況					
	開館日数 (日)	幼児 (人)	小学生 (人)	中・高生 (人)	大人 (人)	合計 (人)
一ノ宮児童館	316	12,759	14,936	3,265	12,422	43,382
永山児童館	316	9,549	13,475	2,239	9,636	34,899
愛宕児童館	292	2,253	11,401	411	3,309	17,374
連光寺児童館	292	1,990	15,410	620	2,468	20,488
豊ヶ丘児童館	293	2,589	10,358	1,011	3,826	17,784
東寺方児童館	293	2,569	12,547	323	3,117	18,556
諏訪児童館	295	8,055	14,192	1,105	8,747	32,099
桜ヶ丘児童館	270	4,632	7,131	526	6,074	18,363
落合児童館	293	6,531	16,731	680	6,722	30,664
唐木田児童館	321	9,722	16,452	3,913	13,063	43,150
合計	2,981	60,649	132,633	14,093	69,384	276,759

	令和元年度児童館利用状況					
	開館日数 (日)	幼児 (人)	小学生 (人)	中・高生 (人)	大人 (人)	合計 (人)
一ノ宮児童館	291	11,140	14,749	2,812	11,745	40,446
永山児童館	290	8,300	13,128	2,260	8,462	32,150
愛宕児童館	265	1,614	11,075	320	2,405	15,414
連光寺児童館	265	3,500	10,530	976	3,839	18,845
豊ヶ丘児童館	266	2,096	9,010	681	3,146	14,933
東寺方児童館	266	2,374	11,546	557	3,671	18,148
諏訪児童館	265	6,627	13,688	563	7,382	28,260
桜ヶ丘児童館	247	4,527	5,319	754	5,825	16,425
落合児童館	265	6,202	13,348	711	6,021	26,282
唐木田児童館	296	8,237	13,736	5,027	11,468	38,468
合計	2,716	54,617	116,129	14,661	63,964	249,371

※令和元年度3月は新型コロナウイルス感染症対策のため、唐木田児童館の1日を除き全館で休館

	令和2年度児童館利用状況					
	開館日数 (日)	幼児 (人)	小学生 (人)	中・高生 (人)	大人 (人)	合計 (人)
一ノ宮児童館	253	8,143	10,415	1,263	7,244	27,065
永山児童館	253	4,531	6,931	847	4,379	16,688
愛宕児童館	245	1,239	6,567	1,146	1,364	10,316
連光寺児童館	245	2,882	7,293	301	2,585	13,061
豊ヶ丘児童館	245	1,244	7,393	495	1,684	10,816
東寺方児童館	245	1,758	5,033	969	2,067	9,827
諏訪児童館	245	5,351	8,665	539	5,010	19,565
桜ヶ丘児童館	226	3,296	2,264	541	3,159	9,260
落合児童館	245	4,042	7,689	571	3,890	16,192
唐木田児童館	243	4,522	5,844	839	5,164	16,369
合計	2,445	37,008	68,094	7,511	36,546	149,159

※令和2年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため、市内全児童館が2ヶ月（4月、5月）休館

	令和3年度児童館利用状況					
	開館日数 (日)	幼児 (人)	小学生 (人)	中・高生 (人)	大人 (人)	合計 (人)
一ノ宮児童館	317	9,413	12,862	2,158	9,363	33,796
永山児童館	317	5,347	7,246	3,002	5,324	20,919
愛宕児童館	293	2,246	8,516	967	2,344	14,073
連光寺児童館	290	2,331	4,361	62	2,070	8,824
豊ヶ丘児童館	293	2,261	9,640	1,457	2,787	16,145
東寺方児童館	293	2,325	5,721	1,062	2,742	11,850
諏訪児童館	293	6,020	12,968	350	5,817	25,155
桜ヶ丘児童館	273	4,520	4,704	367	4,449	14,040
落合児童館	254	3,861	6,381	406	3,851	14,499
唐木田児童館	318	6,425	9,218	1,757	8,263	25,663
合計	2,941	44,749	81,617	11,588	47,010	184,964

	年度別児童館利用状況					
	開館日数 (日)	幼児 (人)	小学生 (人)	中・高生 (人)	大人 (人)	合計 (人)
平成29年度	3,008	59,489	134,302	18,572	67,594	279,957
平成30年度	2,981	60,649	132,633	14,093	69,384	276,759
令和元年度※	2,716	54,617	116,129	14,661	63,964	249,371
令和2年度※	2,445	37,008	68,094	7,511	36,546	149,159
令和3年度	2,941	44,749	81,617	11,588	47,010	184,964

※令和元年度3月は新型コロナウイルス感染症対策のため、唐木田児童館の1日を除き全館で休館

※令和2年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため、市内全児童館が2ヶ月（4月、5月）休館

2 児童館運営事業費決算額

(円)

年度	主な経費内訳			
	報償費 その他報償費 (現金支給)	需用費 消耗品	需用費 修繕料	使用料及び賃借料 その他
29	1,761,500	7,421,234	866,524	1,478,854
30	1,581,850	9,488,754	693,338	1,467,374
元	1,422,250	7,592,401	1,001,508	1,481,192
2	968,000	9,513,123	471,192	1,562,160
3	579,000	6,873,251	508,665	1,722,320

事業カルテ (3年度決算)

児童青少年課

03-02-04-347

学童クラブ運営事業

◇事業の位置づけ等

事務の種類	自治事務	基礎となる法令	児童福祉法・社会福祉法			
第五次総合計画 基本計画体系	目指すまちの姿	子育て・子育てをみんなで支え、子どもたちの明るい声がひびくまち				
	政策	A1	子どもを育てることがうれしいと思えるまちづくり			
	施策	1	子どもの健やかな成長への支援			
	関連する施策	A1-1	A1-3	-	-	-
関連する個別計画	多摩市子ども・子育て・若者プラン(多摩市子ども・子育て支援事業計画)					
関連する報告書など	—					
事業開始の経緯、 これまでの見直し・改善など	昭和48年事業開始。昭和62年以降常勤体制で運営。平成10年4月の児童福祉法の改正により、放課後児童健全育成事業として法的に位置づけられた。平成10年7月、開所時間の変更に伴い嘱託職員を導入し、常勤職員2名と嘱託職員による運営を始めた。平成19年度からは、新設の学童クラブの運営について業務委託方式を導入し、平成23年度からは既存の学童クラブの委託も開始した。令和2年度に豊ヶ丘学童クラブを貝取小学校内に移設し、貝取小学童クラブを開設し、市内全ての学童クラブの運営業務委託を実施することとなった。新型コロナウイルス感染症の影響により、登所自粛の要請を随時行った。					

◇令和3年度の事業の実施内容

事業開始の時期

平成13年度以前

事業の目的、 令和3年度の目標	放課後の監護に欠ける児童の安全な育成と自立を促していく。令和3年度に開設する東寺方小学童クラブ第三の安定した運営を進める。引き続き、新型コロナウイルス感染症対策を実施しながら、運営に努めていく。
予算の執行方法	学童クラブ運営業務委託、既存学童クラブの備品買い替えに執行した。補助金を活用して、コロナ対策消耗品を購入するための費用等を委託費に計上して執行した。
事業の成果	より豊かな児童の健全育成と保護者の子育て支援を推進した。 令和3年度に開設の東寺方小学童クラブ第三の安定した運営を進めることができた。 令和3年9月に登所自粛要請を行ったが、必要な方への保育等を提供する観点から休所することはなく、感染拡大防止に努め、事業を実施することができた。

◇事業にかかる費用

区 分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
決算額(単位:千円)	721,221 千円	792,785 千円	829,663 千円	936,869 千円	949,441 千円	
事業にかかる実コスト	747,660 千円	817,987 千円	855,410 千円	941,055 千円	953,582 千円	
内 訳	直接経費					
	国庫支出金	104,609 千円	105,081 千円	132,303 千円	164,900 千円	161,828 千円
	都支出金	228,867 千円	241,453 千円	260,963 千円	333,366 千円	324,629 千円
	地方債	千円	0 千円	0 千円	千円	0 千円
	その他特定財源	94,930 千円	113,700 千円	124,829 千円	108,663 千円	118,071 千円
	一般財源	292,815 千円	332,551 千円	311,568 千円	329,940 千円	344,913 千円
間接経費						
職員人件費	26,439 千円	25,202 千円	25,747 千円	4,186 千円	4,141 千円	
《従事人員数》	3.00 人	3.00 人	3.00 人	0.50 人	0.50 人	
その他の人件費	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	

◇成果指標

指標の種類	指標について		令和2年度	令和3年度	令和4年度
活動指標 (アウトプット)	学童クラブの施設数 (うち運営委託施設数)	目標	29施設 (29施設)	30施設 (30施設)	30施設 (30施設)
		結果	29施設 (29施設)	30施設 (30施設)	—
成果指標 (アウトカム)	学童クラブの入所状況	目標	延べ育成児童数 549,668人	延べ育成児童数 562,853人	延べ育成児童数 564,774人
		結果	延べ育成児童数 477,317人	延べ育成児童数 490,004人	—

特記事項

新型コロナウイルス感染症の影響で、9月に登所自粛を行い、出席日数に応じた減免措置を行った。

◇自己点検

の成果 推移 指標	今後の見通し	方 向 後 の 性	今後の課題や方向性に関するコメント
	量的 的		
B	A	A	*

<学童クラブ運営事業>

◇ 執行状況及び成果等

1 学童クラブ入所状況 (4月1日)

	平成29年度 (人)			平成30年度 (人)			令和元年度 (人)			令和2年度 (人)			令和3年度 (人)		
	定員	在籍数	保留	定員	在籍数	保留	定員	在籍数	保留	定員	在籍数	保留	定員	在籍数	保留
東寺方小第一	34	34		34	34		34	34		34	34		34	34	
東寺方小第二	70	70	2	70	70	11	70	70	26	70	70	28	70	69	-
※1 東寺方小第三													45	43	
第一小第一	65	65		65	56		65	64		65	65		65	50	
第一小第二	44	43	-	44	40	-	44	44	-	44	44	-	44	44	-
※2 第一小第三	52	45		52	43		52	44		52	48		52	45	
永山	70	55	-	70	40	-	70	40	-	70	49	-	70	40	-
永山第二	70	50	-	70	59	-	70	54	-	70	63	-	70	52	-
永山小	70	70	-	70	70	2	70	70	-	70	70	-	70	70	-
愛和小	84	84	5	84	84	12	90	90	-	90	90	-	90	90	15
愛宕南	58	58	1	58	58	5	58	57	-	58	49	-	58	58	3
※3 連光寺小	69	69	20	69	69	12	90	90	4	90	90	18	90	90	12
聖ヶ丘	60	60	4	72	72	1	75	71	-	75	68	-	75	71	0
※4 豊ヶ丘	70	70	9	70	68	-	70	63	-						
※5 貝取小										80	75	-	80	70	-
貝取	70	70	9	70	70	6	70	70	4	70	63	-	70	58	-
※6 東寺方															
※7 第二小第一	70	64	-	69	69	6	69	67	-	69	69	23	69	69	-
※8 第二小第二	45	39	-	46	46	-	66	60	-	66	66	-	66	62	-
諏訪	70	70	-	70	70	-	70	70	-	70	70	-	70	70	-
諏訪南	70	47	-	70	50	-	70	56	-	70	66	-	70	59	-
※9 北諏訪小第一	70	70	2	70	70	-	70	67	-	70	70	4	70	69	-
※10 北諏訪小第二				80	50	-	80	75	-	80	80		80	79	-
※11 西落合小第一	40	40		40	40		40	39		40	40		40	40	
※12 西落合小第二	40	40	8	40	40	3	40	40	-	40	40	-	40	40	-
※13 西落合小第三	40	40		40	40		40	40		40	40		40	40	
落合第二	70	70	3	70	61	-	70	17	-	70	25	-	70	24	-
※14 落合第二分室				80	31	-									
※15 東落合小				-	-	-	80	80	1	80	80	1	80	80	-
大松台小第一	58	58	14	58	58	5	58	57	-	58	58	1	58	58	1
大松台小第二	70	70		70	70		70	70		70	70		70	70	
※16 南鶴牧小第一	70	70	16	70	70	17	70	70	2	70	70	21	70	70	14
※17 南鶴牧小第二							40	40		45	45		45	45	
合計	1,599	1,521	93	1,771	1,598	80	1,821	1,669	37	1,876	1,767	96	1,921	1,759	45

- ※1 R3.4.1開所
- ※2 H29.4.1開所
- ※3 H31.4.1より連光寺から連光寺小へ名称変更
- ※4 R2.3.31開所
- ※5 R2.4.1開所
- ※6 H29.3.31開所
- ※7 H29.4.1より第二小から第二小学童クラブ第一へ名称変更
- ※8 H29.4.1開所
- ※9 H30.4.1より北諏訪小から北諏訪小学童クラブ第一へ名称変更
- ※10 H30.4.1開所
- ※11 H28.4.1より落合から西落合小学童クラブ第一へ名称変更
- ※12 H28.4.1開所
- ※13 H28.4.1開所
- ※14 H30.4.1開所～6.30閉所
- ※15 H30.7.1開所
- ※16 R2.4.1より南鶴牧小から南鶴牧小学童クラブ第一へ名称変更
- ※17 H31.4.1開所 R2.4.1より南鶴牧小学童クラブ分室から南鶴牧小学童クラブ第二へ名称変更

2 学童クラブ延在籍児童数等

	開館日 (日)	延定員 (人)	延在籍児童数(人)			延べ出席者数(人)			出席率(%)		
			月～金	土	月～土	月～金	土	月～土	月～金	土	月～土
東寺方小第一	293	34	7,791	1,644	9,435	5,167	77	5,244	66.3%	4.7%	55.6%
東寺方小第二	293	70	15,643	3,304	18,947	9,605	199	9,804	61.4%	6.0%	51.7%
東寺方小第三	293	45	10,276	2,168	12,444	6,351	261	6,612	61.8%	12.0%	53.1%
第一小第一	293	65	11,235	2,367	13,602	6,773	145	6,918	60.3%	6.1%	50.9%
第一小第二	293	44	10,109	2,134	12,243	6,415	57	6,472	63.5%	2.7%	52.9%
第一小第三	293	52	9,778	2,071	11,849	5,000	54	5,054	51.1%	2.6%	42.7%
永山	293	70	8,904	1,877	10,781	6,056	160	6,216	68.0%	8.5%	57.7%
永山第二	293	70	12,716	2,677	15,393	9,504	231	9,735	74.7%	8.6%	63.2%
永山小	293	70	16,663	3,514	20,177	11,707	384	12,091	70.3%	10.9%	59.9%
愛和小	293	90	21,140	4,459	25,599	14,360	698	15,058	67.9%	15.7%	58.8%
愛宕南	293	58	14,036	2,958	16,994	9,799	183	9,982	69.8%	6.2%	58.7%
連光寺小	293	90	21,642	4,562	26,204	15,577	307	15,884	72.0%	6.7%	60.6%
聖ヶ丘	293	75	16,145	3,410	19,555	10,949	175	11,124	67.8%	5.1%	56.9%
貝取小	293	80	16,219	3,422	19,641	11,735	358	12,093	72.4%	10.5%	61.6%
貝取	293	70	13,427	2,831	16,258	8,831	56	8,887	65.8%	2.0%	54.7%
第二小第一	293	69	15,378	3,246	18,624	9,847	435	10,282	64.0%	13.4%	55.2%
第二小第二	293	66	13,221	2,788	16,009	7,953	185	8,138	60.2%	6.6%	50.8%
諏訪	293	70	16,900	3,562	20,462	11,404	103	11,507	67.5%	2.9%	56.2%
諏訪南	293	70	11,316	2,394	13,710	6,951	204	7,155	61.4%	8.5%	52.2%
北諏訪小第一	293	70	15,434	3,260	18,694	10,010	274	10,284	64.9%	8.4%	55.0%
北諏訪小第二	293	80	17,819	3,758	21,577	12,714	262	12,976	71.4%	7.0%	60.1%
西落合小第一	293	40	9,577	2,020	11,597	6,535	126	6,661	68.2%	6.2%	43.5%
西落合小第二	293	40	9,341	1,972	11,313	6,669	87	6,756	71.4%	4.4%	59.7%
西落合小第三	293	40	9,662	2,036	11,698	6,514	58	6,572	67.4%	2.8%	56.2%
落合第二	293	70	5,028	1,062	6,090	3,229	60	3,289	64.2%	5.6%	54.0%
東落合小	293	80	18,742	3,954	22,696	13,976	234	14,210	74.6%	5.9%	62.6%
大松台小第一	293	58	12,123	2,564	14,687	7,449	62	7,511	61.4%	2.4%	51.1%
大松台小第二	293	70	16,542	3,488	20,030	11,607	246	11,853	70.2%	7.1%	59.2%
南鶴牧小第一	293	70	16,940	3,570	20,510	9,889	216	10,105	58.4%	6.1%	49.3%
南鶴牧小第二	293	45	10,890	2,295	13,185	7,867	67	7,934	72.2%	2.9%	60.2%
合計	8,790	1,921	404,637	85,367	490,004	270,443	5,964	274,795	66.8%	7.0%	56.1%

3 学童クラブ使用料収入状況

	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)
調定額	18,006	96,438,000	18,714	117,250,000	19,473	121,723,000	19,531	104,205,500	20,052	121,227,470
純収入額	17,955	96,186,000	18,627	116,784,500	19,366	121,072,000	16,064	103,820,500	18,073	120,788,210
未収入額	145	726,000	149	783,500	150	850,000	95	585,000	95	611,260
不納欠損額	79	362,500	37	186,000	23	84,000	1	6,000	8	5,600

4 学童クラブ延長育成料収入状況

	令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)
調定額	5,151	6,327,250	2,752	4,858,500	2,763	4,835,980
純収入額	5,143	6,315,250	2,515	4,843,250	2,557	4,819,480
未収入額	8	12,000	12	16,250	11	17,500
不納欠損額	0	0	0	0	0	0

5 学童クラブ運営事業費決算額

(円)

年度	主な経費内訳			
	報償費 その他の報償費	需用費 消耗品(共通在庫品含む) (学童クラブ贈材料等)	使用料及び賃借料 その他	委託料 業務委託料
29	0	1,937,016	0	※1 718,580,846
30	0	1,993,602	0	※2 790,380,645
元	0	1,643,138	0	※3 827,778,227
2	0	0	0	※4 936,594,311
3	0	0	0	※5 949,347,522

※1 第二小第一及び第二・永山小・南鶴牧小・愛宕南・聖ヶ丘・貝取・北諏訪小・落合第二・大松台小第一及び第二・

第一小第一、第二及び第三・永山第二・諏訪南・諏訪・東寺方小第一及び第二・永山・愛和小・連光寺・

西落合小学童クラブ第一、第二及び第三運営業務委託

(仮称)北諏訪小学童クラブ第二・(仮称)東落合小学童クラブ・聖ヶ丘学童クラブ運営準備業務委託

※2 第二小第一及び第二・永山小・南鶴牧小・愛宕南・聖ヶ丘・貝取・北諏訪小第一及び第二・落合第二・大松台小第一及び第二・

第一小第一、第二及び第三・永山第二・諏訪南・諏訪・東寺方小第一及び第二・永山・愛和小・連光寺・西落合小第一、第二及び第三・

落合第二分室、東落合小運営業務委託

※3 第二小第一及び第二・永山小・南鶴牧小・愛宕南・聖ヶ丘・貝取・北諏訪小第一及び第二・落合第二・大松台小第一及び第二・

第一小第一、第二及び第三・永山第二・諏訪南・諏訪・東寺方小第一及び第二・永山・愛和小・連光寺小・西落合小第一、第二及び第三・

東落合小運営業務委託

(仮称)南鶴牧小学童クラブ第二・(仮称)貝取小学童クラブ運営準備業務委託

※4 第二小第一及び第二・永山小・南鶴牧小第一及び第二・愛宕南・聖ヶ丘・貝取・北諏訪小第一及び第二・落合第二・大松台小第一及び第二・

第一小第一、第二及び第三・永山第二・諏訪南・諏訪・東寺方小第一及び第二・永山・愛和小・連光寺小・西落合小第一、第二及び第三・

東落合小・貝取小運営業務委託

※5 第二小第一及び第二・永山小・南鶴牧小第一及び第二・愛宕南・聖ヶ丘・貝取・北諏訪小第一及び第二・落合第二・大松台小第一及び第二・

第一小第一、第二及び第三・永山第二・諏訪南・諏訪・東寺方小第一、第二及び第三・永山・愛和小・連光寺小・

西落合小第一、第二及び第三・東落合小・貝取小運営業務委託

事業カルテ (3年度決算)

子育て支援課

03-02-04-349

公立保育園管理運営費

◇事業の位置づけ等

事務の種類	自治事務	基礎となる法令	児童福祉法第51条第4項			
第五次総合計画 基本計画体系	目指すまちの姿	子育て・子育てをみんなで支え、子どもたちの明るい声がひびくまち				
	政策	A1	子どもを育てることがうれしいと思えるまちづくり			
	施策	2	子育て家庭への支援			
	関連する施策	A1-3	-	-	-	-
関連する個別計画	多摩市子ども・子育て・若者プラン					
関連する報告書など	公立保育園事業報告書					
事業開始の経緯、 これまでの見直し・改善など	昭和43年に市内初めての保育所として開園し、令和元年度までに2つの施設を有する。平成23年度には、待機児童解消のため、定員の見直しを行い、2園で47名の定員増を図る。開園から40年経過した貝取保育園の老朽化等に伴い、令和元年度に施設の閉所を行い、令和2年度事業統合を行うとともに、園舎解体工事を行った。また、令和2年度末に事務の効率化及び保護者の利便性の向上を図るため、公立保育園システムの導入を行った。					

◇令和3年度の事業の実施内容

事業開始の時期

平成13年度以前

事業の目的、 令和3年度の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・入所している子どもの安心・安全を保障するとともに、保護者支援を積極的に行う。また、離乳食講習会や育児相談、保育体験など開催し、地域の子育て中の保護者が集える場所とする。 ・休日保育事業を円滑に運営する。
予算の執行方法	<ul style="list-style-type: none"> ・入所している児童の安心・安全を確保及び最善の利益を保障するため、賄材料費をはじめとする消耗品費、職員報酬費、修繕費、委託費等を執行した。また、子どもたちに多様な経験と専門家の指導を受けるために委託費・講師謝礼等を執行した。
事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・入所している児童の健全な育成及び保護者支援を行った。 ・地域の子育て中の保護者を保育園での事業に参加してもらい、育児相談に応じる等、保育園との関係性を構築することができた。 ・休日保育事業は、市民の必要性に応じて、安全かつ円滑に利用してもらうことができた。

◇事業にかかる費用

区分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
決算額(単位:千円)	63,970 千円	88,736 千円	51,572 千円	144,217 千円	28,091 千円	
事業にかかる実コスト	467,022 千円	457,258 千円	380,231 千円	367,374 千円	253,065 千円	
内訳	直接経費					
	国庫支出金	0 千円	0 千円	143 千円	500 千円	250 千円
	都支出金	814 千円	25,729 千円	638 千円	2,696 千円	2,191 千円
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	83,000 千円	0 千円
	その他特定財源	9,993 千円	9,368 千円	8,823 千円	4,633 千円	5,729 千円
	一般財源	53,163 千円	53,639 千円	41,968 千円	53,388 千円	19,921 千円
間接経費						
職員人件費	302,726 千円	280,160 千円	260,906 千円	173,698 千円	168,964 千円	
《従事人員数》	34.35 人	33.35 人	30.40 人	20.75 人	20.40 人	
その他の人件費	100,326 千円	88,362 千円	67,753 千円	49,459 千円	56,010 千円	

◇成果指標

指標の種類	指標について		令和2年度	令和3年度	令和4年度
活動指標 (アウトプット)	公立保育園の年間延べ認可定員数	目標	1,416人	1,416人	1,416人
		結果	1,416人	1,416人	—
成果指標 (アウトカム)	公立保育園の年間延べ入所児童数	目標	1,416人	1,416人	1,416人
		結果	1,328人	1,221人	—

特記事項

—

◇自己点検

の成果 推移 指標	今後の見通し		方今後 向後の 性	今後の課題や方向性に関するコメント
	量的 的	財一 源般		
B	B	B	イ	子育て支援についてのニーズの把握に努めるとともに、公立保育園の機能強化について、引き続き検討を行っていく。

<公立保育園管理運営費>

◇ 執行状況及び成果等

公立保育園管理運営費決算額

(千円)

年度	主 な 経 費 内 訳						
	報酬	賃金	需用費	役務費	委託料	使用料 及び 賃借料	公有財産 購入費
29	17,274	0	35,426	686	7,763	1,543	0
30	16,877	0	32,131	689	7,439	1,227	0
元	11,854	0	27,155	5,408	9,692	1,159	0
2	6,603	0	13,755	380	8,098	727	0
3	5,994	0	13,427	157	4,700	1,320	0